

# 製本のススメ

Vol. 8

毎日暑いですが、さすがに朝晩は多少過ごしやすくなりました。「暑さ寒さも彼岸まで」昔の人はよく言ったものです。さあ背筋を伸ばして、ハチマキ締めて夏の遅れを挽回しましょう。

今回も中綴じのお話(3回目)

さて、自分の会社の印刷は、表面も裏面も用紙に対して直角&平行にきちんと出来ていると思っていますか？実は左右・表裏のトンボ位置は想像以上にずれている場合が多いのです。そんなはずない！と思うでしょうが、紙は生き物でインクが乗ると湿気で多少紙目に沿って伸びたり縮んだりします。そこで製本では実際の印刷物にあわせて折り・断裁をしています。当然用紙は曲がって折れている事があります。曲がっていますが折目は、あくまでも印刷面に対して平行&直角なのです。この部分が袋折になっている部分 1回目からしつこく言っている裏長の部分(写真左)です。



印刷内容を合わせる為に  
天や小口は紙をズラして  
折らなくてははいけない。

(用紙の表裏の色を替えてい



中綴じ機は多くの場合  
右から左へ折丁が流れて  
いく(折丁は赤い部品に  
合わせて揃って行く)



表長(オモテなが)に折っ  
てあるためバラけた小口  
側で揃えなくてはならず  
折丁同士を合わせずらい

中綴じ製本は、見開きの良さや加工代が比較的安価なこともあり、パンフレットやカタログに多く用いられますが、内容によっては罫線や見開き写真等があったりと多種多様です。特に線のズレは目立ちやすくクレームの原因になりますから作る側も気を使いますが、表長(写真右)では修正しきれないのが現状です。短時間で品質の良い製品を作る為には製本工程だけが頑張ってもダメなんですね。



## Teabreak

「おやつにしよう」と言うとなぜ3時なのかな？実はこの「おやつ」時刻の【八つ】から来たそうです。そういえば時代劇で[丑三つ]とか言いますね。「八つ」は現代時刻で午前2時頃と午後2時頃だそうで、今も昔も小腹が空くのは同じ。軽食を取って休憩したわけです。現代では時間表示が変わりましたが昼食と夕食の間なら3時のおやつがちょうどいいね♪

by (株) 井関製本